

教科	美術	科目	素描	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	イチバン親切なデッサンの教科書（新星出版社）						
副教材（出版社）	なし						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆、ペン等の描画材料の特性を生かせるよう理解を深め、人体、静物、風景などのモチーフを深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表す。 構図、質感、量感、空間性等の作品を形成する要素のいずれかを描くことができる。 	人体や静物、風景などのモチーフに対する深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握、表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動の中で主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりするなど、技術を追求しようとする。 制作に能動的に取り組み、描写力の向上のために、見通しをもったり、振り返りをするなど、技術的に探求する。
評価方法の例	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 学習状況の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 提出作品 学習状況の観察 自己評価

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> クロッキー 人体、静物 デッサン 鉛筆 手、目、鼻、口、髪、自画像 模写（マンガ） 作品鑑賞、講評 	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆、ペン等様々な描画材の扱い 形態の捉え方、細部の描き込み 光の方向性、稜線の見方、人体の構造 マンガ表現技法 作品講評会
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> クロッキー 人体、静物 スケッチ 自画像漫画作画 スケッチ 似顔絵作画 デッサン 静物 布、金属、ガラス等 スケッチ 静物デフォルメ デッサン 静物着彩 	<ul style="list-style-type: none"> 人体の構造の理解とデフォルメ 質感の表現 鉛筆、ペン等様々な描画材の扱い 制作の進め方、モチーフの印象の見方 作品講評会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> クロッキー 人体、静物 人体デッサン 鉛筆 動物のデッサンと漫画作画 想定デッサン 模写（マンガ） 作品鑑賞、講評 	<ul style="list-style-type: none"> 人体の構造の理解とデフォルメ 動物の構造の観察とデフォルメ 想定での空間表現 モチーフの自然な形態を捉える 作品講評会

学習方法	デッサンは描いた枚数と時間に比例して誰でも上達します。人よりも一枚でも多く描くつもりで制作に取り組ましましょう。作品の提出期限は厳守しましょう。
ICT活用	スライド（発表資料・まとめ）、Forms（振り返り・アンケート）

教科	美術	科目	構成	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	つくる・見る・学ぶ 美術のきほん（秀学社）						
副教材（出版社）	なし						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	・造形的な創造活動に関わる形体、色彩、素材などの諸要素やその働きについて理解を深めるとともに、材料や用具を工夫して的確に表す。	構成の美しさ、バランスなどを考えて調和のとれた配色をしたり、材料を活用して表現効果を高めたりすることや、対象の見方や感じ方を深めたりすることを思考し、表現することを目指す。	平面や立体の構成の学習を通して、主体的に自らの表現の可能性を追求するなど、造形感覚を高めようとする態度を養うことを目指す。
評価方法の例	・提出作品 ・小テスト	・提出作品 ・学習状況の観察	・提出作品 ・学習状況の観察 ・自己評価

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	・形体、色彩 ・材料 ・鑑賞	・構成基礎理論、色彩基礎理論、構図基礎理論 ・幾何形体による平面構成 ・校内写生 ・ドローイング ・作品講評・鑑賞会
2 学期	・平面構成 ・立体構成 ・鑑賞	・イラストレーション制作 ・ポスターゼーション ・ポスターデザイン制作 ・ドローイング ・作品講評・鑑賞会
3 学期	・平面構成 応用 ・立体構成 応用 ・鑑賞	・立体制作 粘土でリンゴ制作 キャラクター制作 ・幾何形体による紙立体構成 ・ドローイング ・作品講評会

学習方法	作品は時間かけて粘り強く取り組めば素晴らしい作品になります。時間を確保して作品制作に取り組みましょう。作品の提出期限は厳守しましょう。
ICT活用	スライド（発表資料・まとめ）、Forms（振り返り・アンケート）

教科	美術	科目	マンガ制作	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	高森高校マンガ学科テキスト						
副教材（出版社）	なし						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	漫画表現におけるそれぞれの表現方法の特性について理解を深めるとともに発想や構想をしたことなどを基に、様々な表現方法や材料や用具などを工夫して独創的・創造的に表す専門的な技能を身に付ける。	漫画表現における様々な表現方法の専門的な知識や技能などを活用し、創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深める。	漫画表現における様々な表現方法の制作を通して、主体的に表現したり鑑賞したりし、漫画表現の可能性を追求する態度を養うことを目指す。
評価方法の例	・提出作品 ・小テスト など	・提出作品 ・学習状況の観察 など	・提出作品 ・学習状況の観察 ・自己評価 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	マンガの発想法	マンガ企画の出発点 企画発想の4つ「もしも～」 企画のタネのインプット方法 実体験の活かし方 取材・テーマの調べ方
2 学期	キャラクターの考え方・作り方 キャラクターデザイン	自分自身のキャラクターを把握する 多種多様なキャラクターの作り方 主人公の作り方 ドラマとして成立させる方法
3 学期	ネームの作り方	物語の作り方-起承転結- 読み切りマンガと連載漫画の違い ページ配分の仕方 読み切りマンガのページ配分

学習方法	作品は時間かけて粘り強く取り組めば素晴らしい作品になります。時間を確保して作品制作に取り組みましょう。作品の提出期限は厳守しましょう。
ICT活用	スライド（発表資料・まとめ）、Forms（振り返り・アンケート）